

大阪府宮陵会(支部) 再建総会からの30年

(はじめに)本会の前身である(旧)大阪支部発足以来約30年に亘り支部長として活躍された諫山正三先輩(10賢)が、昭和50年代半ばに体調を崩されて以来支部活動は休眠状態となり、事態を憂慮して同窓会本部より常務理事武笠健次氏が来阪し、勝谷芳良先輩(13商)に支部の再建の要請された次第です。依って要請を受けた勝谷先輩を軸に7名の発起人が中心となり大学及び同窓会本部の指導と協力、そして近隣府県の卒業生による積極的な参加も相まって昭和58年9月3日、近隣各支部より多数の賛助出席者も含め約130名の同窓生で再建総会を開催し、支部長に勝谷芳良氏を選出の上、新体制で支部活動を再スタートされました。

諫山正三先輩は固より低迷期での支部活動を

担われた多くの諸先輩の方々に敬意を表します。再建以後、現在に至る諸活動の概要を紹介させていただきます。

- ・再建された支部は、組織も定着し円滑に運営が出来る状況が見えたのを期に佐々木真一先輩(16賢)が支部長になられ先ずは会員相互の交流の場が必要と月1回飲食を共にする懇親の場を設けられました。これが現在「宮陵会関西倶楽部」として毎月第4金曜日に開催している定例会です。又、毎年忘年会、新年会を交互に行っております。
- ・次に懇話会の開催です。これは各界で活躍されている会員の方を講師として招き貴重なお話しをいただいております。開催は隔年で現在まで13回開催しております。
- ・会員の趣味を生かした同好会としてゴルフコンペ

の開催です。現在会長杯(支部長杯)G・Cとして継承されています。年2〜3回の開催です。通算50回を数えております。又、ゴルフコンペ同様、現在「広く旅する会」として旅行会がござります。同会は海外旅行を毎年1回実施し台湾、韓国、中国、タイ、インドネシア他13回開催しております。国内旅行に変更した年もござります。

・佐々木支部長の後を受けた川口静夫支部長(30経)にあつては支部活動再開10周年に当たり、記念総会を開催し、併せて会員名簿の発行を行いました。

・平成10年根来道徳氏(法37)が支部長(現会長)となり、先ず組織の活性化と会員の活動参加促進策の環として、大阪府の南北に地区会(泉州会・北摂会)を発足させました。現在、隔年で各々独自の企画に依るイベントを実施しております。今後の課題としては大阪の中央部を如何にすべきかにあります。何分にも昼間人口の街であり併せて転入、転出の頻度が高く、潜在会員も多く居ると思われる工施設です。顕在化させる方策を要検討中です。

・母校が箱根駅伝に出場する年は、現地まで応援に行くことが叶えませんが1日目(往路)に会員が飲食店(貸切り)に集まり、スタートからゴールまで応援の集いを行っております。

・近年、新しい活動として大阪府内のスポーツ施設において母校が出場する大会には必ず役員を動員し併せて一般会員にも呼び掛けて会場へ激励と応援に向向いております。

(競泳、大学女子サッカー、シヨートトラックス、ビードスケート等)

・近畿圏の各宮陵会(支部)の連携を深め併せて情報交換の場として近畿ブロック会議を各府県持ち回り幹事を務め毎年開催しております。

・現在大阪府の会員は約560名です。最盛期の800余名からすれば大きな減少です。(昭和卒78%、平成卒22%)

・総会案内の出欠返信は約16〜7%

・年会費(2,000円)の納入実績は12〜3%

課題は山積です。概ね内容は各地域組織共通の問題ではないかと思えます。即効性のある打開策など容易なことではありません。同窓仲間の連携と親睦、母校のたいなる発展を活動の糧として今後とも努力を続けていく所存です。

株式会社OTC

相談役 田口 貢
(昭40・工業経営卒)

〒541-0054
大阪市中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンNBFタワー
TEL 06-6244-1141 FAX 06-6244-1177
E-mail : m.taguchi@otc-otc.co.jp
http://www.otc-otc.co.jp

大石法律事務所

弁護士 大石 一二
(昭45・法卒)

〒530-0047 大阪市北区西天満1-8-9-2005
TEL (06) 6365-8558 FAX (06) 6365-0407
E-mail / law@oishi-law.jp